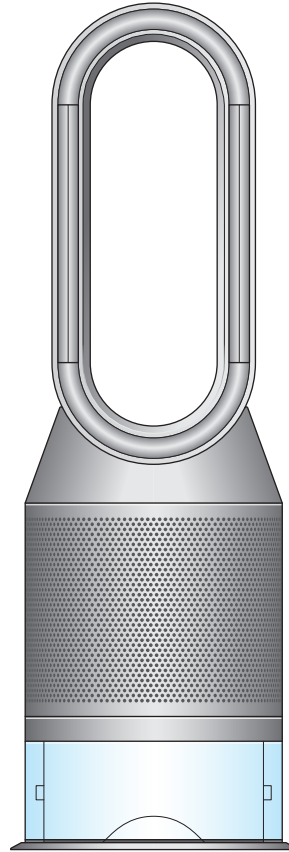


dyson pure humidify+cool

取扱説明書



-
- | | | | |
|---|----------------|----|--------------|
| 2 | メーカー保証 | 7 | スリープタイマー |
| 3 | 組み立て | 7 | ナイトモード |
| 3 | タンクへの給水 | 8 | 加湿お手入れ |
| 4 | 操作 | 10 | 空気清浄フィルターの交換 |
| 5 | 情報メニュー | 10 | 連続モニタリング |
| 6 | オート(自動)空気清浄モード | 10 | Wi-Fiへの接続 |
| 6 | オート(自動)加湿モード | 11 | お手入れ |
| 6 | 風向調整／スウィング | 11 | トラブルシューティング |
| 7 | 風量と送風方向 | | |

このたびはダイソン 加湿空気清浄機をご購入いただきまして ありがとうございます。

Dyson Link アプリのステップに沿って
セットアップを行ってください。

お好みに合わせて設定いただけます。

どこからでも設定を変更したり、
稼働状況を確認することができます。

自動更新により、ソフトウェアを
常に最新の状態に維持できます。



Dyson Link アプリをダウンロード

App StoreまたはGoogle Playから
Dyson Link アプリをダウンロードしてください。

アプリを開き、画面上の手順に従って
新規アカウントを作成してください。

その他情報およびサポート関連のお問い合わせ:

ダイソンお客様相談室

0120-295-731
9:00AM～5:30PM
(年末年始等の特別休暇を除く)

www.dyson.co.jp



AppleおよびAppleロゴは米国およびその他の国でApple Inc.の商標として登録されています。
App Storeは米国およびその他の国でApple Inc.のサービスマークとして登録されています。

Google PlayおよびGoogle Playのロゴは、Google Inc.の商標です。

2年間のメーカー保証をお受けいただくために
製品のご登録をお願いします。

ダイソンは、ご購入後も製品に関する
サポートを提供致します。

購入日から2年以内に、製品、部品または
製品の一部に製造上の瑕疵があると認められる
場合、無料で製品または部品の交換、または修理を
致します。(該当する部品の生産が終了するなど
部品の在庫がない場合は、弊社が代替となる
別の部品に交換します。)空気清浄フィルターは
保証適用外です。

保証期間を過ぎても、お問い合わせいただけます。

購入日から2年間のメーカー保証 迅速なサービス

専門スタッフが週7日対応
(年末年始等の特別休暇を除く)

ご使用方法のw画やアドバイスの提供

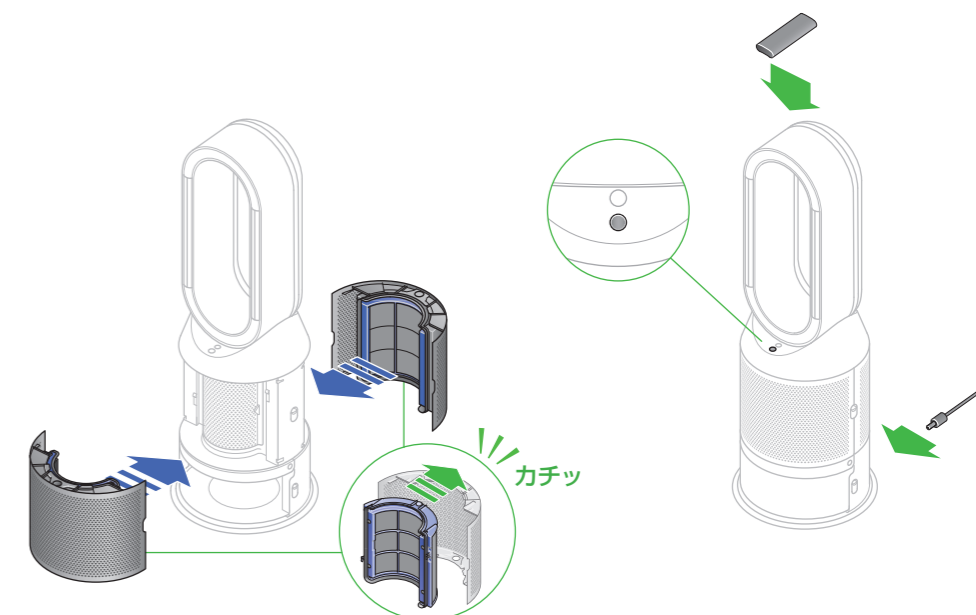
製品製造番号(シリアルNo.)は、本体底面に
貼付された製品ラベルをご確認ください。

今後のために製品製造番号(シリアルNo.)を
お控えください。

製品ラベルサンプルイメージ(詳細は実物と異なります。)



組み立て



両手で本製品のベースの部分を持つように注意して、
箱から本製品を取り出してください。

円形パーツを持って持ち上げてください。

本体側面の「フィルターカバー取り外しボタン」を
押し下げ、フィルターカバーを外してください。

フィルターカバーを外すと、加湿フィルターが
設置された内側の扉がすぐに開きます。内側の扉を
「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。

本製品には、グラスHEPAフィルターと
活性炭フィルターが一体になった、
空気清浄フィルターが同梱されています。

保護包装から空気清浄フィルターを取り出します。

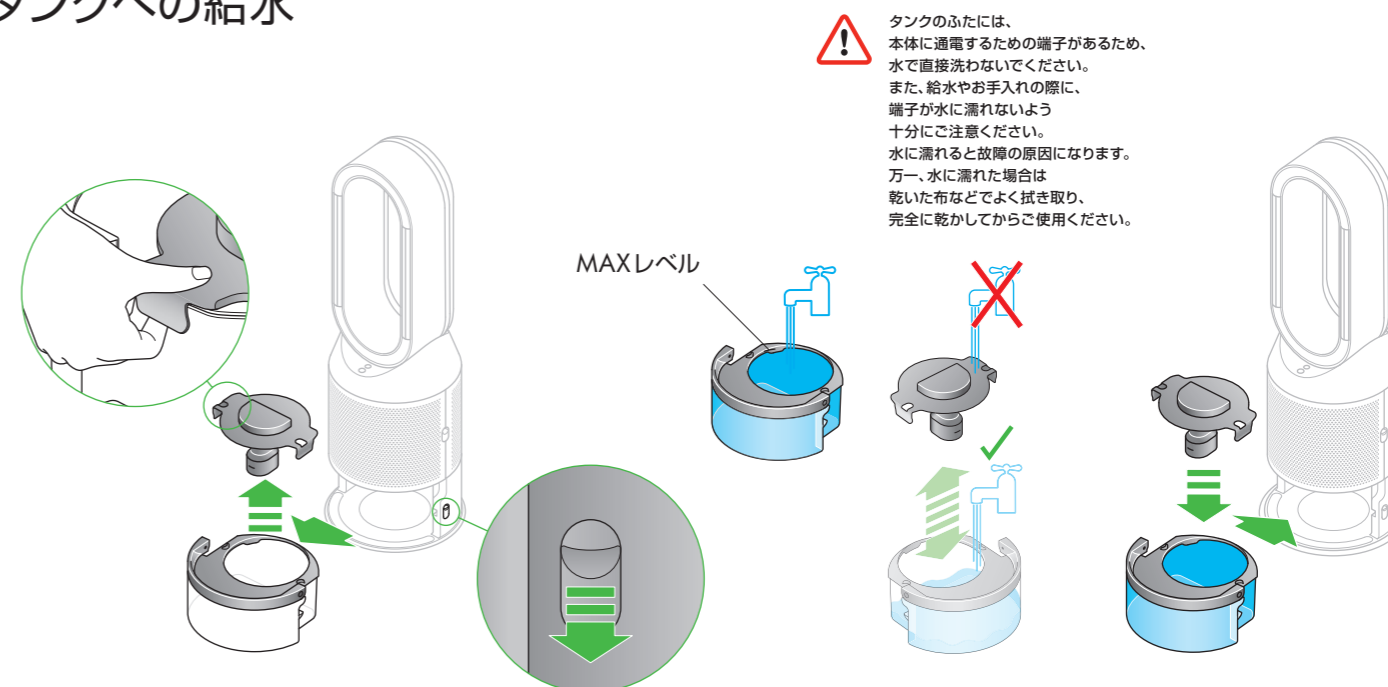
空気清浄フィルターをフィルターカバーに取り付け、
フィルターカバーの上下にあるタブに「カチッ」と
音がするまで押し込んでください。

フィルターカバーを本体の所定の位置にはめこみ、
「カチッ」と音がするまで優しく押し込んでください。

リモコンは操作面を下に向け、
本体の上部に取り付けてください。

電源プラグを差し込んで、電源をオンにしてください。

タンクへの給水



! タンクのふたには、
本体に通電するための端子があるため、
水で直接洗わないでください。
また、給水やお手入れの際に、
端子が水に濡れないよう
十分にご注意ください。
水に濡れると故障の原因になります。
万一、水に濡れた場合は
乾いた布などでよく拭き取り、
完全に乾かしてからご使用ください。

タンクを取り外す前に、加湿モードが
オフになっていることを確認してください。

タンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を
押し下げます。

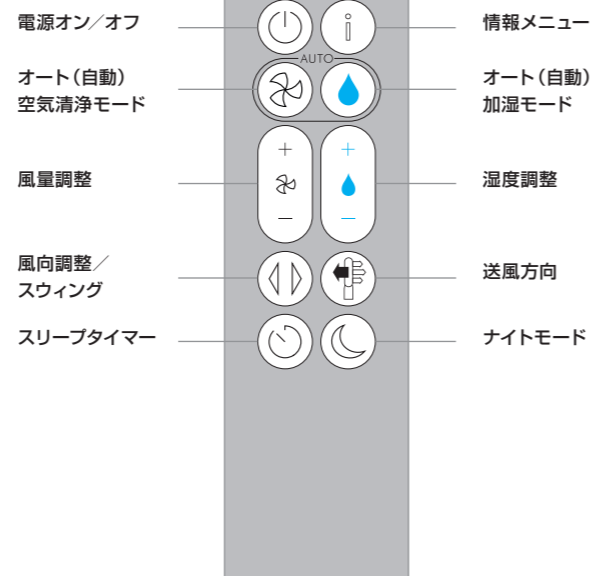
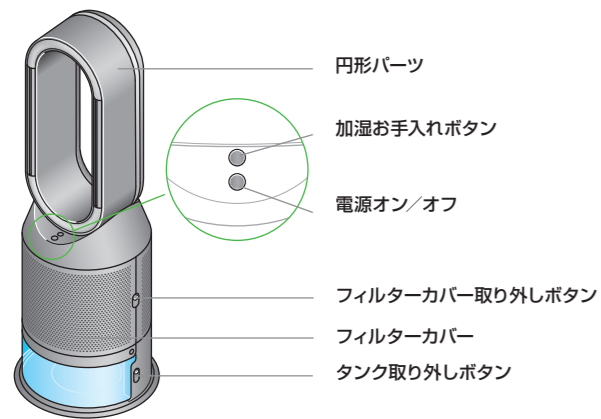
タンクを手前に引いて本体から外してください。

タンクのハンドルを持ってシンクへ運び、
ふたを外します。

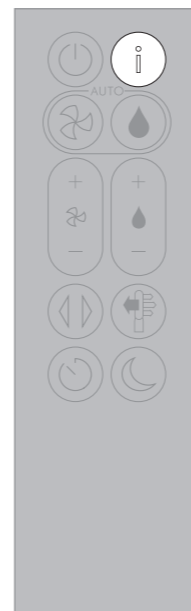
タンクのMAXレベルまで水道水(冷水)を注いでください。
ふたをしっかりと取り付けてください。
万一、端子が水に濡れた場合は、
乾いた布などでよく拭き取ってください。

水がこぼれないように、持ち運びにご注意ください。
タンクを本体の所定の位置にしっかりと
押し入れてください。

操作



情報メニュー



リモコンの「情報メニュー」ボタンを押すと、本体ディスプレイの画面がスクロールし、本製品の稼働状況を確認することができます。

空気質、温度、湿度の情報と加湿フィルターのお手入れ時期、空気清浄フィルターの寿命などを表示します。

特定の汚染物質が原因で空気質が低下した場合、本体ディスプレイにその汚染物質のマークが表示されます。



室内の空気質 - 直近12秒
直近の12秒間の空気質データをグラフで示します。



室内の空気質 - 直近24時間
直近の24時間の空気質データをグラフで示します。

73%

室内湿度
空気に含まれる水分量をパーセントで示します。



粒子状物質 (PM 2.5)
たばこの煙やバクテリアなど、お部屋の空気に含まれる2.5 μ mまでのサイズの微粒子をモニターします。



粒子状物質 (PM 10)
ほこりや花粉など、お部屋の空気に含まれる10 μ mまでのサイズの粒子をモニターします。



二酸化窒素および他の酸化ガス
燃焼によって空気へ放出される有毒となりうるガスです。例えば、調理中に発生するガス、自動車の排気ガスなどです。



揮発性有機化合物 (VOC)
VOCは、揮発性の有機化合物の総称です。清掃用製品、塗料および新しい家具から発生する場合があります。

15°C

室内温度
快適な環境を維持するために室内温度をモニターします。



加湿フィルター
加湿フィルターのお手入れ時期の目安が表示されます。

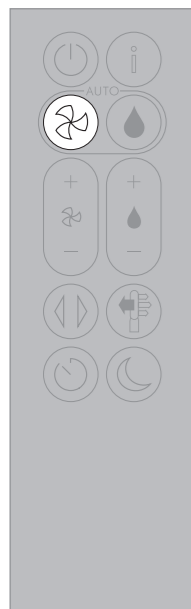


空気清浄フィルター
フィルター寿命がディスプレイに表示され、フィルターの交換の目安をお知らせします。



Wi-Fi
Wi-Fiネットワークへの接続状態を表示します。

オート(自動) 空気清浄モード



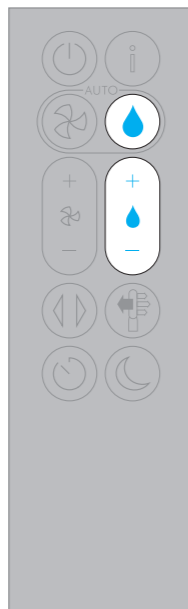
オート(自動)空気清浄モードを選択すると、内蔵センサーのインテリジェント機能が空気質に応じて本製品の設定を調整します。

空気質: 目標とする空気質のレベルに到達したことをセンサーが感知すると、本製品は動作を休止し、空気質が低下すると再開します。

風量: 目標とする空気質のレベルに到達するまでは、風量を上げて運転します。

ナイトモード: オート(自動)空気清浄モードで使用時、ナイトモードを設定すると、風量を1~4の範囲で運転します。

オート(自動) 加湿モード



オート(自動)加湿モードを選択すると、内蔵センサーのインテリジェント機能が部屋の温度と湿度に応じて設定を調整します。

室内湿度: 目標とする湿度に到達したことをセンサーが感知すると、本製品は加湿を休止し、室内湿度が低下すると再開します。

風量: 目標とする湿度に到達するまでは、風量を上げて運転します。

オート(自動)加湿モードを無効にし、湿度レベルを手動で変更するには、「湿度調整」ボタンを押してください。

風向調整/ スウィング



「風向調整/スウィング」ボタンを押して、風向(スウィング)角度0°、45°、90°またはブリーズモードをお選びください。

Dyson Link アプリでも風向(スウィング)角度またはブリーズモードを設定できます。

スウィングをご使用中に「風向調整/スウィング」ボタンを押すとスウィングを休止し、もう一度押すと、再開します。

風向を正面に戻すには、「風向調整/スウィング」ボタンを2秒間長押ししてください。

風量と送風方向



風量の増減調整を行うには、「風量調整」ボタンを押してください。

送風方向を正面から背面に変更するには、「送風方向」ボタンを押してください。

送風方向を調整して快適にお過ごしいただけます。

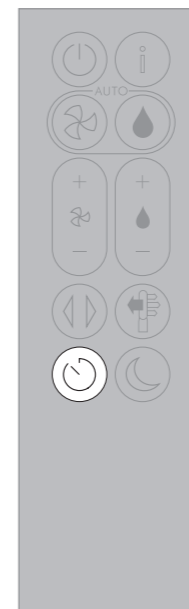
正面から送風しながら空気清浄を行う場合は、送風方向を正面に設定してください。

送風方向を背面に設定すると、清浄された空気を背面に送風します。

送風方向をいずれに設定しても(正面もしくは背面)空気清浄と加湿(設定されている場合)は連続的に行われます。

Dyson Link アプリでも風量と送風方向を設定できます。

スリープタイマー



スリープタイマーで予め設定した時間になると、本製品の電源は自動的にオフになります。

スリープタイマーを設定するには、「スリープタイマー」ボタンを複数回押ししてご希望の長さの時間を選択します。スリープタイマーを設定後、再度「スリープタイマー」ボタンを押すと、選択された時間が表示されます。

スリープタイマーを取り消すには、「スリープタイマー」ボタンを複数回押しして取り消しを選択してください。

ナイトモード



ナイトモードでは、本製品は引き続き空気質や室内温度をモニタリングして運転しますが、お休みに合わせて静音運転に切り替わり、LCDディスプレイが暗くなります。

空気清浄または加湿のオート(自動)モードで使用時、ナイトモードを設定すると、風量を1~4の範囲で運転します。

Dyson Link アプリでもナイトモードを設定できます。

加湿お手入れ

重要:LCDディスプレイに加湿お手入れの手順が表示されるため、本製品の電源を切ったり、プラグを抜いたりしないでください。

本製品の性能を維持してご使用いただくために、定期的に水垢を除去する加湿お手入れを行うことが重要です。

加湿機能を長期間使用しない場合、使用前後に加湿お手入れを行うことを推奨いたします。

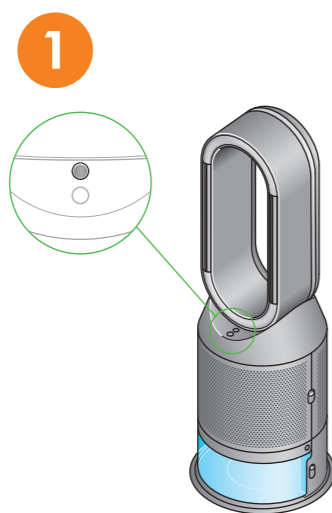
お住まいの地域の水の硬度が高い場合は、加湿お手入れをより頻繁に実行する必要があります。本製品の優れた性能を継続してご使用いただくために、ろ過水を使用することを推奨いたします。

お手入れが必要になると、本製品が表示でお知らせします。

Dyson Link アプリをご利用の場合は、通知メッセージが送信されます。

Dyson Link アプリをご利用でない場合も、本体のLCDディスプレイにお知らせが表示され、「加湿お手入れボタン」が点灯します。

加湿お手入れを途中で中止するには、「加湿お手入れボタン」を5秒間長押ししてください。

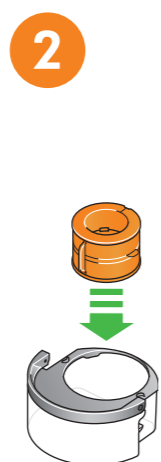


本体正面の「加湿お手入れボタン」を押すと、LCDディスプレイに手順が表示されます。

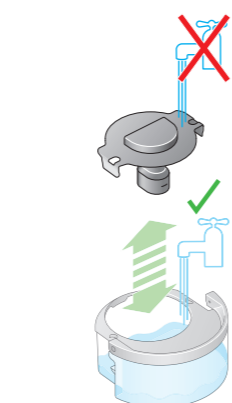
フィルターカバーの両側の「フィルターカバー取り外しボタン」を押し下げ、フィルターカバーを外してください。内側の扉が開きます。フィルターカバーを脇に置きます。

タンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を押し下げます。

タンクを手前に引いて本体から外し、ふたを外してください。



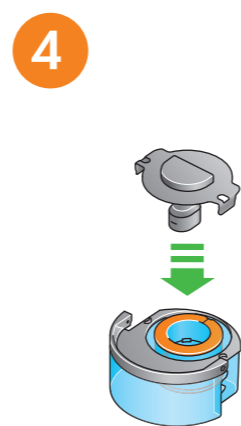
本体から加湿フィルターを取り出しタンクに入れ、再度ふたを取り付けてください。



タンクのふたは、「加湿お手入れ機能」で十分に洗浄されます。タンクのふたには、本体に通電するための端子があるため、水で直接洗わないでください。また、給水やお手入れの際に、端子が水に濡れないよう十分にご注意ください。水に濡れると故障の原因になります。

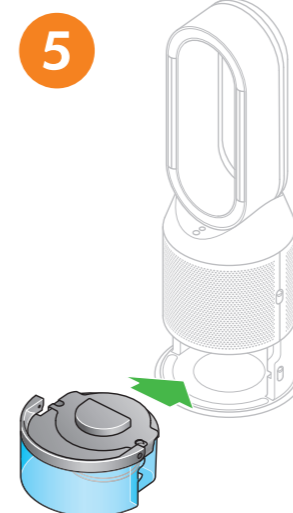
万一、水に濡れた場合は乾いた布などでよく拭き取り、完全に乾かしてからご使用ください。

加湿お手入れ 続き



ふたをしっかりと取り付けてください。余分な水は必ず拭き取ってください。

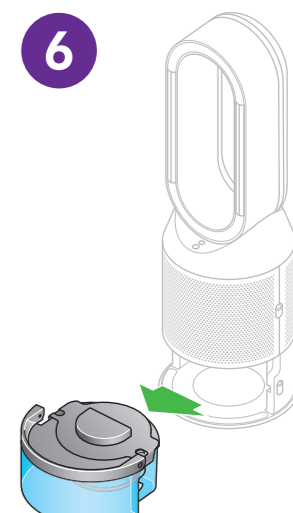
ふたの外側が濡れた状態でご利用になると、故障の原因になります。



本体の所定の位置にタンクをしっかりと押し入れてください。

LCDディスプレイの手順に従って「加湿お手入れボタン」を押します。

加湿お手入れが始まり、LCDディスプレイにカウントダウンタイマーが表示されます。



LCDディスプレイに加湿お手入れの完了が表示されたら、本体のタンクの両側にある「タンク取り外しボタン」を押し下げてください。

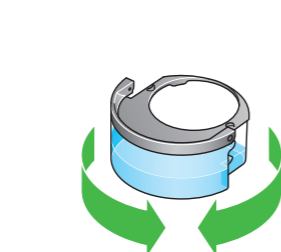
タンクを手前に引いて本体から外してください。タンクのハンドルを持ち、シンクへ運びます。

3



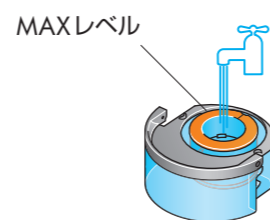
タンクのハンドルを持ち、シンクへ運びます。

タンクのふたと加湿フィルターを取り外します。タンクのMAXレベルの半分まで水道水(冷水)を注いでください。

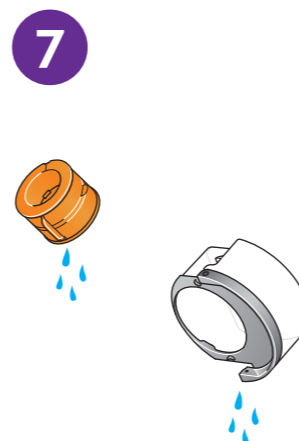


150gのクエン酸をタンクに投入します。

クエン酸が完全に溶けるまでゆっくりまぜてください。



加湿フィルターをタンクに入れます。タンクのMAXレベルまで水道水(冷水)を注いでください。

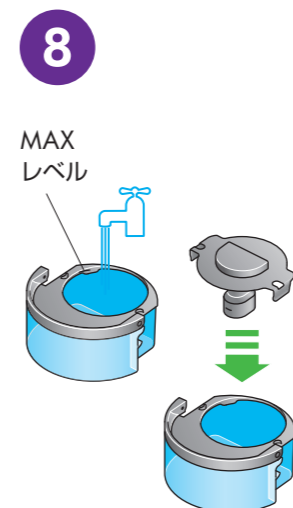


ふたを外し、タンクから加湿フィルターを取り出し、水道水(冷水)ですすいでください。

余分な水は拭き取り、加湿フィルターを一旦近くに置いてください。

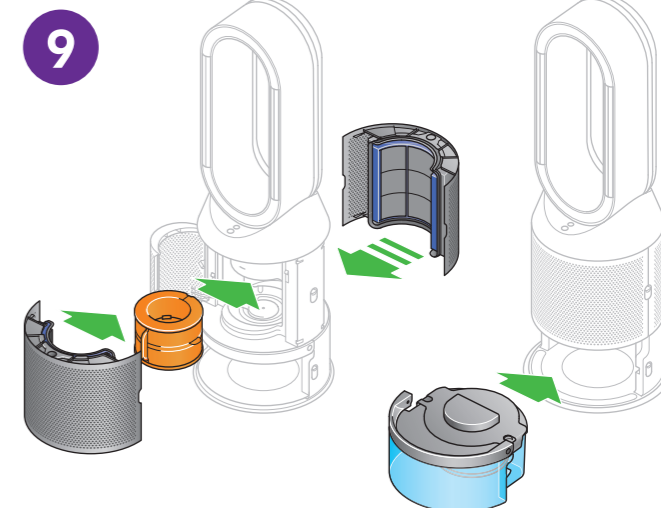
タンクを水道水(冷水)ですすいでください。タンクの内部を拭いて、余分な水分やごみを取り除いてください。

※ご注意: タンクのふたは水洗いできません。水に濡れると故障の原因になります。



MAXレベルまでタンクに水を注ぎ、余分な水分を拭き取ってからふたをしっかりと取り付けてください。

タンクのふたに水分が残っていないことを確認してください。

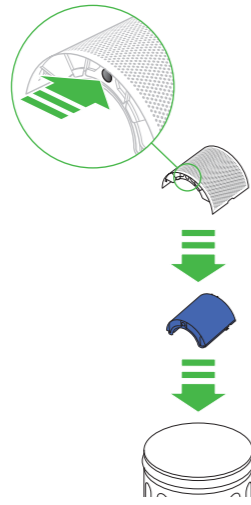


本体の所定の位置に加湿フィルターをしっかりと押し込んでください。

内側の扉を閉じ、フィルターカバーを取り付けてください。

本体の所定の位置にタンクをしっかりと押し入れてください。

空気清浄 フィルターの交換



空気清浄フィルターの交換が必要になると、本体のLCDディスプレイの表示でお知らせします。

Dyson Link アプリをご利用の方には、通知が送信されます。

交換用フィルターは、ダイソン公式オンラインストアからご購入いただけます。

電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体側面の「フィルターカバー取り外しボタン」を押し下げ、フィルターカバーを外してください。

フィルターカバーを外すと、加湿フィルターが設置された内側の扉がすぐに開きます。

内側の扉を「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。

フィルターカバーの上下にあるタブを押して使用済みフィルターを外します。

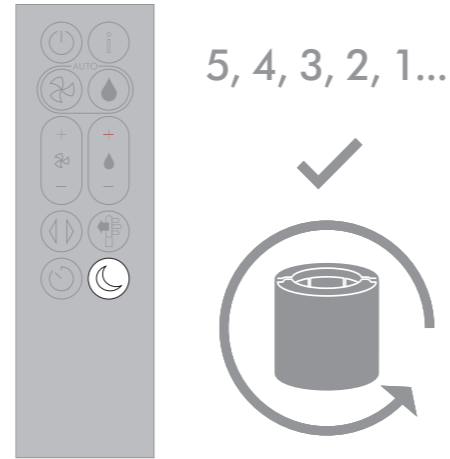
使用済みフィルターは地域の規制に従って廃棄してください。

保護包装から新しいフィルターを取り出します。

新しいフィルターをフィルターカバーに取り付け、上下にあるタブに「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

本体にフィルターカバーを取り付け、「カチッ」と音がするまでしっかり押し込んでください。

電源プラグをコンセントにつなぎ、「電源オン/オフ」ボタンを押してください。

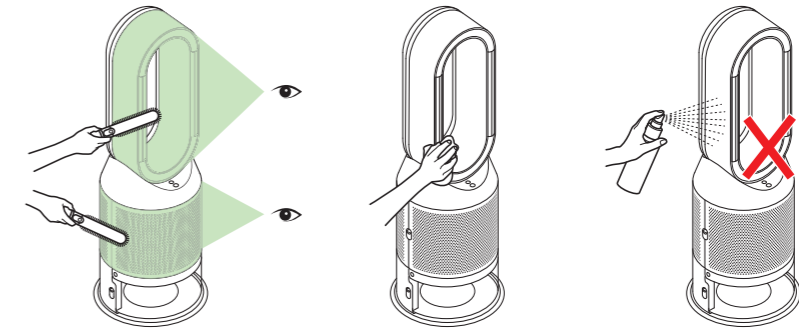


重要: フィルター寿命をリセットしてください。リモコンの「ナイトモード」ボタンを長押ししてください。

本体のLCDディスプレイに5秒のカウントダウンが表示され、5秒後にデフォルト画面に戻ります。

フィルター寿命がリセットされ、本製品を使用する準備ができます。

お手入れ



本製品が効率的に動作するように、定期的にお手入れを行い、詰まりがないかを確認してください。

お手入れ
製品の表面のほこりは、円形パーツ、フィルターカバー、その他の部分の順に、清潔な乾いた布で拭き取ってください。

フィルターカバーの空気吸入口および円形パーツ内の小さな開口部に詰まりがないか点検します。

詰まりがあった場合、柔らかいブラシで取り除きます。

本製品のお手入れには、洗剤やツヤだし剤を使用しないでください。

トラブルシューティング



製品に異常を検知した場合、LCDディスプレイにエラーコードが表示されることがあります。

エラーコードが表示された場合
電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そのまま10秒待ち、その後、再度電源プラグをつなぎ、電源をオンにしてください。

エラーコードが引き続き表示される場合は、[<ダイソンお客様相談室>](#)にお問い合わせください。

エラーコードが消えた場合は、そのまま本製品をご使用ください。

LCDディスプレイにその他のエラーが表示された場合は、[<ダイソンお客様相談室>](#)にお問い合わせください。

連続モニタリング

連続モニタリング機能を有効にすると、本製品は室内の空気質、室内温度、室内湿度の情報を収集します。この情報はLCDディスプレイとDyson Link アプリでご確認いただけます。

連続モニタリング機能は、初期状態では無効になっています。一旦、連続モニタリング機能を有効にすると、手動で切り替えない限り、有効の状態が続きます。

連続モニタリング 機能の有効／無効

連続モニタリング機能の有効／無効を切り替えるには、リモコンの「オート(自動)空気清浄モード」ボタンを5秒間長押ししてください。

連続モニタリング機能の有効／無効の状態は、LCDディスプレイでご確認いただけます。

Wi-Fiへの接続

Wi-Fiへの接続は、初期状態では有効になっています。本製品本体の「電源オン/オフ」ボタンを5秒間長押しすると、Wi-Fiを有効または無効にできます。

長期使用製品安全表示制度に準じた本体表示について			
<p>■ 本体への表示内容</p> <p>本製品は扇風機機能を有しているため、経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために長期使用製品安全表示制度に準じた表示を本体に行っています。</p>			
	<p>【製造年】 本体に表示してあります。</p> <p>【設計上の標準使用期間】 10年</p> <p>設計上の標準使用期間を超えて使用されると、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。</p>		
	<p>(設計上の標準使用期間とは)</p> <ul style="list-style-type: none"> 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。 		
<p>■ 標準的な使用条件：扇風機機能使用時</p>			
環境条件	電圧	単相100V	製品の定格電圧による
	周波数	50 Hz / 60 Hz	
	温度	30°C	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	水平で安定した場所
負荷条件	定格負荷(風速)	1.8m/s	
想定時間等	1日あたりの使用時間	8時間/日	
	1日の使用回数	5回/日	
	1年間の使用日数	365日/年	
	スイッチ操作回数	3650回/年	
	首振り運転の割合	100%	

「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生じる劣化のことをいいます。